

【草花の部屋】

クレオメ（フウチョウソウ科フウチョウソウ属 *Cleome hassleriana*）

和名：セイヨウフウチョウソウ（西洋風蝶草）

別名：スイチョウカ（酔蝶花）、フウチョウソウ（風蝶草）

英名：Spider flower

フウチョウソウ目 一年草 **原産地**：熱帯アメリカ

花言葉：秘密のひととき、あなたの容姿に酔う

花の色：白、桃、紫



← 写真-1 クレオメ

撮影日：2015年07月15日

撮影場所：インターラーケン（スイス）にて

撮影者：M さん



↑ 写真-2 クレオメの蕾と葉

撮影日：2015年07月15日

撮影場所：インターラーケン
（スイス）にて

撮影者：M さん



← 写真-3 クレオメ（白花）

撮影日：2015年07月15日

撮影場所：インターラーケン
（スイス）にて

撮影者：M さん

インターラーケンは、ユングフラウ、アイガーなどの名峰を巡る、ベルナー・オーバーランド(ベルン高地)観光の拠点の街。この街の、ほぼ中心部にある、ヘーエ通り沿いに色とりどりの植物と一緒に混植されていました。特徴のある花が咲いていたのでカメラに納めました。太くて長い雌蕊と、さらに長い雄蕊が突出している姿がユニークでした。帰国後、クレオメ(セイヨウフウチョウソウ)だと解りました。ヘーエ通りからは、ヘーエマッテ公園越しに、ユングフラウを観ることもできます。ヘーエ通りの街路樹にはマロニエ(西洋トチノキ)が植えられており、その間に花壇が・・・。

明治初期に渡来し、花壇用として用いられ、南西諸島では野生化しているそうです。長い雄蕊と花弁が風に舞う蝶のように見えることからセイヨウフウチョウソウの名がついたそうです。花色はピンクが基本ですが、紫、白花などの品種も流通しているそうです。別名の「スイチョウカ(酔蝶花)」は、蕾の濃いピンクから時間と共に花色が白を帯びて変化する様子に由来するそうです。時間とともに、色が変化する花に、スイフヨウがあります。また、雄蕊の長い花には、ハウオウボクモドキがあります。

< ちょっと一言 >

スイフヨウ(アオイ科フヨウ属 *Hibiscus mutabilis* cv. *Versicolor*)

和名：スイフヨウ(酔芙蓉) **別名**： **英名**：

アオイ目 落葉性低木 **原産地**：日本、中国

花言葉：しとやかな恋人、繊細な美、微妙な美しさ、富貴

ハウオウボクモドキ

(マメ科ジャケツイバラ属 *Caesalpinia gilliesii*)

和名：ベニジャケツイバラ(紅蛇結茨) **別名**：

英名：Bird-of-Paradise Shrub

マメ目 常緑・低木 **原産地**：アルゼンチン